

大井第一マイ・タウン21

10月号 No.197

発行：編集委員会
住所：南大井1-12-6
大井第一地域センター内
電話：3761-2000
FAX：5493-7286
令和2年9月20日発行

< しながわ花海道のご紹介 >

水辺のフラワーロード

町会からの記事でも登場
する品川区の名所です

NPO法人

しながわ花海道

大井第一町会地区は、立会川や勝島運河を中心に抱えた、水辺にゆかりの深い地区です。平成14年、立会川・鮫洲地区の町会や商店街の有志が中心となって、「しながわ花海道プロジェクト」活動を立ち上げ、秋は菜の花、春は秋桜の種蒔きを始めました。

約2キロの勝島運河護岸に菜の花や秋桜の花畑が造成され、定期的に清掃も行われ、地域の方々がゆっくり散策できる憩いの場を提供し、地域の活性化を図ってきました。

平成19年には、篤志家のご寄付で勝島運河東側に桜58本が植樹され、春は桜・菜の花、秋は秋桜が咲き乱れ、品川区の観光スポットになりました。

この成果が認められ、平成28年には管内21の町会・自治会までもが参画した「NPO法人しながわ花海道」が設立され、社会的基盤を整備したことで、従来以上に活動範囲が広がりました。今年から品川区の委託事業として、しながわ花海道だけでなく、鮫洲入江広場、かもめ水辺広場、立会川側道まで活動範囲が広がっています。

平成30年
6月には品川区と連携協定を結んでいる福井県坂井市から寄贈され



福井県坂井市のユリ

たユリを植栽、令和元年3月には福島県長沼商工会から寄贈された藤沼湖・奇跡の紫陽花を植栽するなど、他地域と植樹で交流を図っています。

令和2年、「アジサイの名所大作戦」を行い、有志の寄付で勝島運河東側に340本の紫陽花を植樹しました。引き続き「夢をつなぐサルビアの道」活動で、ボラちゃん橋と立会川側道のプランターに福島県須賀川市からいただいたサルビア800本やマリーゴールドを植



植樹されたアジサイ



ボラちゃん橋のサルビア

しながわ花海道に面する勝島運河周辺の町会は、毎週一回の清掃活動を行い、維持管理に努めています。

花海道周辺は、歴史もあり、観光名所も多いので、7月から東大井区民集会所ロビーに、周辺の観光情報スペースを設け、パンフ配布、図書閲覧、ガイド活動を始めました。ぜひ、お立ち寄り、ご意見をお聞かせください



観光情報スペース

(文責 永尾 章二)

もっときれいに花海道

鮫洲仲町会

ごみの落とし場に困るようなきれいな花海道を作ろうとの事務局の要請に応じて、運河に面した町会が協力して美化活動を始めることになりました。鮫洲地区は3町会（鮫洲南町会・仲町会・曙町会）が持ち場を話し合いで決め、鮫洲北町会には、従来どおり鮫洲運動公園グラウンド地区の担当をお願いしました。鮫洲入江広場ができてから、広場の清掃は主に地域のボランティアに任せていましたが、新しい組織（NPO法人しながわ花海道）ができてこれからはこの方々の指導を受け、3町会が協力して行うようになりました。

広場の入り口には、福井県坂井市の方々と育てたユリの花が待っています。広場の散歩道の

脇には河津桜が春を迎え、百日紅の濃紅色・トネリコの淡緑色が初夏を彩り、秋にはヤマモモが実をつけ散歩する人を喜ばせます。

昨年までは保育園児の盆踊りが行われ明るい声が響きましたが、残念なことに今年は中止でした。しかし現在は、シニアの会「笑和会」の人たちが「密」を避けながら毎朝ラジオ体操を行って健康管理に努めています。子どもたちのボール遊びの響きも楽しげです。思い出をつくる花海道の美化運動に協力できることは幸せなことです。



工事中の鮫洲入江広場
(平成25年)



現在の鮫洲入江広場

歴史がある京浜急行電鉄

鮫洲南町会

明治37年5月8日、京急電鉄の前身のひとつである京濱電気鐵道の海岸駅（現：大森海岸駅）から品川駅までが開通し、大井第一地区に電気鐵道が走るようになりました。

今現在、大井第一地区には鮫洲駅、立会川駅、大森海岸駅の3つの駅がありますが、開通当初はさらに浜川駅、土佐山駅、鈴ヶ森駅がありました。

●浜川駅

鮫浜小学校仮正門の北側にありましたが、太平洋戦争のさなかに駅間距離や乗降客数の少なさから駅の統廃合が進めら



浜川駅があったあたり

れ、昭和19年11月10日に廃止されました。

●土佐山駅

おりしきみつるクリニックの近くにあったといわれています。

隣の立会川駅とあまりにも近いので、開業から8年後には廃止されてしまいました。駅名は「土佐山」ではなく「日本体育會前」だったのではないかと、という説もあるようです。

●鈴ヶ森駅

大経寺の近くにありました。

浜川駅と同じ理由で同じ日に廃止されましたが、戦後もしばらくの間階段やプラットホームが残されていたとのこと。

京急電鉄はJR線などと比べると駅間距離が短いのですが、開通当初はさらに短く、また、当時の電車は木造で1両編成でしたので、路面電車に近かったと想像できます。

京急電鉄はこれからも大井第一地区の皆様を安全に運んでくれることでしょう。